

私の本棚

アクサ生命保険社長

安洩 聖司氏

▶「21世紀の教育」（ダニエル・ゴールマン／ピーター・センゲ著、ダイヤモンド社）

我々が直面している多くの問題、例えば、気候変動、生物多様性の喪失、パンデミックなどは、スケールがマクロ過ぎたり、対象がミクロ過ぎたりして、日常の解像度では対応できず、危機をリアルに感知することが難しい。意思決定の難易度

は上がるばかりだ。この事態に対し「EQ」のゴールマンと「学習する組織」のセンゲが協力し、世界をより良い方向に変える「新しい学び方（ラーニング）」を本書で提案している。

ゴールマンは長年、社会との関わり方と感情の扱いについて学ぶ「SEL教育」を実践しており、センゲは、複雑な関係性を理解できる「システム思考」の普及に努めている。この2つを組み合わせる「自分自身、他者、外の世界へ」のそれぞれに注意を向ける「3つの焦点」及び相互の関連性を学ぶ、というのが2人の手法で、スキルとして習得できるものだという。つまり、生徒たちだけでなく、社会におけるあらゆる学びの場に適用できる考え方なのだ。

監訳者の「まえがき」と付録の「SEL教育入門」により教育の着実な進化が分かり、企業における学びも変わらなくてはならないと痛感した。

